

図画工作 5年「学校の授業における学習活動の重点化」年間指導計画参考資料

資料のご活用にあたって

- ・本資料の配当時間数は、開隆堂出版株式会社のホームページにて公開しています「年間指導計画(案)」で示している配当時間のうちの最も長い時間数を設定しております。指導計画の作成に当たっては、各学校での実態に合わせて時間数をご検討ください。
- ・当該学年で取り扱う内容について、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせたりするなどの配慮が必要となります。
- ・上級学年に指導内容を送った場合には教員間でしっかりと引継ぎをするなどの配慮が必要となります。

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間数()	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
季節を感じて	8・9	4	身のまわりの風景を見たり触れたりすることから季節のイメージを広げ、色使いや筆使いを工夫して、季節から感じ取ったことを絵に表す。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、外に出て季節を見たり感じたりしたことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	3.5
みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」	10・11	2	粘土をねじったり塊からひねり出したりするなどして表したいポーズを工夫し、動き出しそうな人物を立体に表す。	—	—	※個人の粘土を用いて活動を行えるようにする。	—	2
形と色でショートチャレンジ 形を集めて	12・13	2	身近にあるものの形を生かし、同じ形のものの大きさや重なり方を工夫して組み合わせ、絵に表す。	○同じ形のものの大きさや重なり方を工夫して絵に表すことを知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、身近にあるどんなものの形を生かすかを思い浮かべ、アイデアスケッチにかくなど、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	1.5
糸のこの寄り道散歩	14・15	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った板の形や組み合わせから表したいものを考え、思いついたものをつくる。	○教科書に掲載されている参考作品例や電動糸のこぎりの使い方を見て、電動糸のこぎりの使い方について確認する。	・事前に教科書の掲載作品例や54ページ「学びの資料」を見て、電動糸のこぎりの使い方を確認し、活動について興味をもつことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.2)	※電動糸のこぎりの使い方などを示範する際は、モニターを活用するなど、児童を集合させないようにする。	—	5.8
同じもの、たくさん	16・17	2	カップやフラフープなど同じものをたくさん集め、つないだり組み合わせたりしながら身近な場所とのかかわり方を工夫して活動する。	○同じものをたくさん集め、つないだり組み合わせたりしながら身近な場所とのかかわり方を工夫する活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、どんなものが使えそうか、どんな活動ができそうかなどについて大まかに考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.2)	※共同してつくりだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。	—	1.8
動きの不思議	20	2	体の動きやバランスなどの特徴をもとに人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫して絵に表す。	○人の体の動きやバランスについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、自分の体を動かしてみたり、鏡の前などでいろいろなポーズをとってみたいすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	※ポーズを友だちにしてみせよう場合は、十分に距離を保つなど注意が必要。	—	1.5
わたしのおすすめ	21	4	自分が生活する地域に目を向け、地域にあるすてきなものやことのよさが伝わるように色使いや筆使いを工夫して絵に表す。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、地域にあるすてきなものやことを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	3.5
見つけて！ ワイヤードリーム	22・23	6	針金を曲げたりつないだりすることから発想し、つくりたい形や仕組み、飾りなどを考えて立体に表す。	○教科書に掲載されている参考作品例やペンチなどの使い方を見て、ペンチなどの使い方について確認する。	・事前に教科書の掲載作品例や52・53ページ「学びの資料」を見て、ペンチなどの使い方を確認し、針金を使ってどのように表していこうかを大まかに考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	※針金の使い方などを示範する際は、モニターを活用するなど、児童を集合させないようにする。	—	5.5
コロがるくんの旅	24・25	6	玉の転がりをもとにしかけやコースを考え、友だちと協力して、ビー玉が転がる面白いコースターをつくる。	○しかけやコースをつくり、ビー玉が転がる面白いコースターをつくる活動について知る。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を探してみるなどすることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○互いのアイデアを出し合いながら力を合わせてコースターをつくる。	5.5	5.5
あったらいい町、どんな町	26・27	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像し、形や色の組み合わせを考えて絵に表す。	○教科書に掲載されている参考作品例を見て、よさや美しさ、面白さについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を見て、あったらいいな、行ってみたいと思う町を思い浮かべて書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	3.5

① 題材名	② ページ 時間数		③ 学習内容	④ 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	⑤ ③の教材・学習活動の概要、配当時間()	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑤の教材・学習活動の概要、配当時間数	⑧ ③の教材に係る配当時間数を除いた、学校の授業が必要な時間数
地球は大きなキャンパスだ	28・29	2	材料を集めたり場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考え合わせながら思いついた活動をする。	—	—	※共同して作りだす活動を想定しているため、指導時期の検討が必要。	—	2
比べてみよう	30—33	2	作品をよく見て比べ、よさや違いを見つけることから感じ取った表現の意図や特徴などを味わったり話し合ったりする。	○絵画作品を比べて鑑賞して、感じたこと、見つけたこと、想像したことなどを書きとめる。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、感じたこと、見つけたこと、想像したことなどを書きとめておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	1.5
進め！ ローラー大ぼうけん	34・35	2	ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、ローラーの特徴を生かした表し方を工夫しながら、思いついたことを絵に表す。	—	—	—	—	2
色を重ねて広がる形	36・37	6	彫りと刷りを繰り返してできる形や色からイメージを広げ、彫り方や刷り色の重なり方を工夫して彫り進み木版画に表す。	○彫りと刷りを繰り返して木版画に表す活動について知る。	・事前に教科書50・51ページの「学びの資料」を見て、彫り進み木版画の作り方を理解しておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5.5
だんボールで、試して、つくって	38・39	6	段ボールの特徴から表したいものを考え、切り方や折り曲げ方などを工夫して立体に表す。	○段ボールを折ったり曲げたりしていろいろな形を表すことができることを知る。 ○段ボールで試したことをもとに、どのように表していきたいかについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、表したいことをある程度思い浮かべてたり書きとめたりしておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・段ボールでできそうなことを試したことをもとに、どのように表していこうかをある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	—	—	5
Myキャラが動き出す	40・41	6	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友だちと協力してキャラクターが活躍する物語を考えて簡単なアニメーションに表す。	○紙粘土でつくるオリジナルキャラクターについて考える。 ○オリジナルキャラクターをもとに、表したい物語を考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、思い浮かべたことをアイデアスケッチにかくなど、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・オリジナルキャラクターをもとに、どんな物語を表したいかについてある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	○互いのアイデアを出し合いながら協力して撮影する。	5	5
そっと見てね、ひみつの景色	42・43	6	材料の形や大きさ、配置の前後などを考え、友だちと互いの作品を見せ合いながら気づいたことなどをもとに箱の中に自分の世界をつくる。	○箱の中に自分の好きな場所を表す活動について知る。 ○いろいろな身のまわりの材料を組み合わせてどのように表していきたいかについて考える。	・事前に教科書の掲載作品例を鑑賞して、思い浮かべたことをアイデアスケッチにかくなど、自分が表したいことをある程度考えておくことは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5) ・事前に教科書の掲載作品例を見て、使えそうな身のまわりの材料を集め、組み合わせを試しながらどのように表していこうかある程度考えてみることは学校の授業以外の場においても実施可能。(0.5)	※互いの作品を見せ合うときは児童を集合させないようにするなど、注意が必要。	—	5